

しょうわ 議会だより

第 26 号

平成15年

7月15日

6月定例議会



▲南小2年生のみなさんが、議場見学しました。

おもな内容

6月定例会で決めたこと (2～5ページ)

一般質問 村の姿勢を問う (8～9ページ)

町村合併と芝生広場の視察 (12～13ページ)

読者シリーズ 聞きたい 知りたい みんなの声 (15ページ)

6月定例会

6月定例会は、6月6日（金）から12日（木）までの7日間の会期で開催しました。

昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任同意を初めとする議案7件、昭和村土地開発公社の財政状況報告、補正予算3件、発議1件が上程され、原案どおり可決となりました。

また議会最終日の一般質問では、4名の議員が登壇し、質疑が交わされました。

昭和村立第1保育園改築工事 2億6千113万5千円で 請負契約を締結

（全員賛成）

入札審査会で選定された10社を指名した指名競争入札により落札した、沼田・篠田・沼建特定建設共同企業体が2億6千113万5千円（消費税含む）で工事請負契約を締結することが可決されました。

自然環境を十分に配慮するとともに社会参加の第一歩を歩み出す子ども達の安全確保を主眼として考えられた施設です。



▲昭和村立第1保育園起工式（6月18日）

Q 建設にあたって、今問題視されているシックハウス症候群等の問題に対する対策は考えていますか。

A 村 長

木類を多く使用することと、やさしさをあたえ、室内環境を汚す有機気体を発生させない材料・接着剤・塗料を使用することとしています。

Q 入札制度について、2億5千200万を公表して入札を執行した結果2億4千870万で沼田・篠田・沼建特定建設共同企業体が落札し、その落札差額が330万円だった、前橋市が導入している、分担施行方式等の導入も検討していけばもっと低い落札価格が出るのでは。

A 村 長

入札方式については、いろいろと試行錯誤をし、最終的にはどんな形がいいのかと、価格公表したり、しなかったりしています。また村内業者優先・保護という面について、従来から考えております。



議会日程

6月6日（金）

本会議

農集排特別委員会

全員協議会

6月7～8日

（土・日）

休会

6月9日（月）

総務常任委員会

6月10日（火）

民生文教常任委員会

6月11日（水）

産業建設常任委員会

6月12日（木）

本会議

全員協議会

一般会計

芝生公園（スポーツ芝生広場）

ふれあい広場の整備など

1億9千966万2千円増額

電源地域産業再配置促進費補助金による芝生公園整備に伴う事業費や生越地区の和太鼓購入に伴う助成金、飼料自給率向上対策に伴う助成金などが主な補正予算の内容です。

補正額は、歳入・歳出それぞれ1億9千966万2千円を追加し、予算総額は、43億5千966万2千円になりました。
（全員賛成）

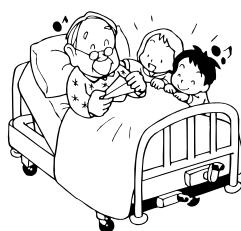


▲スポーツ芝生広場予定地

老人会計

4千770万9千円増額

平成14年度の精算に伴い、歳入・歳出それぞれ4千770万9千円を追加し、予算総額は、9億2千429万2千円になりました。
（全員賛成）



農集排会計

560万増額

貝野瀬・生越地区、糸井三ツ谷地区、昭和南地区への新規加入者増に伴う施設管路工事費等の増額です。

歳入・歳出それぞれ560万を追加し、予算総額は、4億8千381万7千円になりました。
（全員賛成）

決まりました

固定資産評価審査委員に鈴木氏



鈴木 昭夫氏
(稼久保)

昭和村固定資産評価審査委員会委員に鈴木昭夫氏が選任されました。鈴木氏は村農業委員・村議会議員・区長会長等を歴任され、その経験を活かし、村のために一層の活躍を期待します。

国民健康保険税負担増へ

昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

今回の改正は、平成14年度の国保会計及び今年度の所得状況、国保基金を検討した結果、国保医療分の所得割3・8%を4・4%に、資産割を40%を45%に、均等割15,000円を18,000円に、平等割25,000円を27,000円に引き上げるものです。応能割合が56%、応益割合44%となります。

A 税務課長

事業専従等の関係で課税所得額が約7億3千万円ほど下がったので今回一人平均1,370円の増となった。

― 反対意見 ―

負担が増える事であり不景気のおり、村としても増税しないでやって行ける、村独自の努力範囲が在るのではと感じましたので反対とさせて頂きます。

意見書を提出しました

「三位一体の改革」に関する意見書

国庫補助負担金の廃止・縮減、地方交付税の見直し及び地方への税源移譲を柱とする「三位一体の改革」は、地方分権の本旨に則り、同時並行かつ一体のものとして取り扱われるべきものである。

しかるに、6月6日に地方分権改革推進会議が内閣総理大臣に提出した「三位一体の改革についての意見」は、財源移譲を先送りし、国庫補助負担金の廃止・縮減及び地方交付税の見直しを先行するものであって、地方公共団体として到底受け入れることはできない。地方分権推進よりも国の財政再建に重きを置いた同会議の意見は、「地方分権改革推進」の名に値しないものである。

地方財政制度の抜本的な改革は、国の過度な関与を廃し、地方が潜在力を自由に発揮し、地方が自らの判断と財源による魅力ある地域づくりを促進することを主眼に進めなければならない。

よって、国会及び政府におかれては、真の地方分権を確立するため、税源移譲の実施を明確に位置づけた「三位一体の改革」の実現を図るよう強く要望する。

以上を内閣総理大臣外8関係省庁に意見書を提出しました。

平成15年6月12日

昭和村議会

また、介護分については、所得割、0・5%を0・95%に資産割、5%を7・5%に均等割、6,300円を8,000円に平等割4,500円を6,000円に引き上げ、応能割合が51%、応益割合が49%になります。(賛成多数)

こういふことが

村に企業を呼び込む ために奨励金

昭和村企業誘致奨励金交付条例の 制定について

景気の先行き不透明状態が依然として続いている中、関屋工業団地もキヤノン電子株式会社の出後には現在、空き地状態にあり、村ではこの度、企業誘致の促進を図り、雇用促進及び村経済の発展のため企業誘致奨励金交付条例を制定する。

第1条（目的） 関屋工業団地に企業誘致することにより、産業の振興及び雇用機会の拡大を図り、経済の発展及び村民生活の安定向上に資する。

第2条（定義） の中で は産業分類で製造業・情報通信業・運輸業・サービス業と優良企業に対しての受け皿を広く設けた。

第3条（優遇措置） については、村長が指定した事業所に対し、設置奨励金として土地、建物及



（全頁賛成）

び償却資産に賦課される固定資産税相当額を事業所に対し5年間100分の100を交付し、雇用の促進奨励金については、事業開始後、村内に居住している方につき1人10万円を乗じて得た額で、500万円を限度額とし、1年間交付する。また緑地奨励金については、群馬県工場立地適正化条例の適用を受ける緑地を設けるのに要した費用に100分の20を乗じた額とし、限度額は、200万円とし、1年間交付する。

質疑

Q 企業誘致法の中で3年間低工法（低工開発地域工業開発促進法）固定資産税免除になっておりますので、実質はこの条例に基づいては2年間なのか確認したい。

A 企画課長

低工法については3年間課税の減免になっていきます。優遇措置については、それを除いた2年間という形です。

たばこ税改正される

昭和村税条例の一部改正について

地方税法の一部を改正する法律が可決されたことに伴い一部改正されました。

主な改正は、株式等譲渡所得や配当所得関連に伴う個人住民税の所得割額算出の改正が成されました。この法の適用は平成16年1月1日からです。

次に、たばこ税率の引

住基ネット稼働に向けて

昭和村手数料条例の一部を改正する 条例について

本年8月25日の住基基本台帳ネットワークシステムの稼働に向けて、交付を受けようとするものに住民基本台帳カードを交付する。その手数料を徴収するための改正となつた。

（賛成多数）

反対意見

住基ネットの稼働に伴う準備のものでありセキュリティに心配が在るので当面見合わせた方がよいのではないかと思いますので反対いたします。



利根村と

村界変更

市町村の境界変更

県営赤城西麓第4（生越）地区換地に伴う土地の区画、形状の変更による。

（全頁賛成）

（全頁賛成）

常任委員会のうごき

総務常任委員会

6月9日、総務常任委員会を開催しました。

本委員会に付託された請願・陳情審査については、貝野瀬地区のふれあい広場に防火水槽の整備等求める陳情、望郷ライン沿いに公衆トイレの整備を求める陳情を全会一致で採択しました。



▲特別養護老人ホーム「西嶺の郷」を視察

審査終了後、第一保育園建設地と残地の確認のため東中跡地、子育保育園の要望書についての建設予定地、公衆トイレ整備予定地を調査しました。また、特別養護老人ホームについて新治村の「西嶺の郷」の視察研修を行いました。

民生文教常任委員会

6月10日、民生文教常任委員会を開催しました。

付託された請願・陳情の審査で、特別養護老人ホーム建設に関する陳情について、6月6日の全員協議会での意見を参考にし、現地を精査したところ、村にも施設が一つは必要であるとの判断が

ら、全会一致で採択しました。

子育保育園々舎の拡張的建て替え費用並びに付属構築物等の改修費用の全面的支援要望書については、現地を精査し、改築に向けてのよりよい方法を前向きに検討するためには、なお調査研究が必要との見地から、全会

一致で継続審査としました。

審査後、特別養護老人ホーム「花の苑」を施設見学し、入所希望の待機者が多数いるとの説明を聞き、家庭介護から施設介護へ変化していると感じ、改めて本委員会全員でその必要性を感じました。



▲要望書による子育保育園建設予定地を視察

産業建設常任委員会

6月11日、産業建設常任委員会を開催しました。

付託された請願・陳情等の現地調査・審査を行いました。

村道曰久保5号線道路改良工事の陳情については地域住民の生活道路であり、陳情理由も理解でき、また村道関屋3号線拡幅工事についても全会一致で採択しました。

貝野瀬地区「村道掘ノ内宮原線（武尊神社付近）」等の拡幅改良整備を求める陳情について

は、神社・お寺等風情のある地であり、原風景を保存しながらの改良を望むものであり、「新井替戸下野々井線」舗装改良整備を求める陳情については、知的障害者授産施設（星夜の森学舎）に通ずる道路であり、いずれ



▲村道掘ノ内宮原線（貝野瀬地区武尊神社付近）



▲村道関屋3号線（森下地区）

も全会一致で採択としました。

村道中野3号線の道路舗装及び排水対策の整備を求める陳情は、豪雨のとき出水が懸念されることから、工法的な問題があるが、全会一致で採択としました。

昭和村小口資金融資にかかわる保証人要件の緩和についての請願書です

が、慎重審議をした中で、いまの社会情勢では、やむを得ないということで全会一致で採択としました。

村当局の厳しい財政状況の中で、村民に直接関係のある道路等の維持補修改良の要望が多く、苦慮し、審議を重ねました。

ここが聞きたい

村の姿勢を問う



金井正夫議員

村民にもっと 情報提供を

市町村合併問題について

Q 法定協参加についての見解と今後の対応を問う。

A 村 長

本格的に任意合併協議会が始動し、六ヶ月が過ぎ、その間、協議会が3度開催され幹事会は4回、専門部会は数回開催

Q 職員で構成する合併研究機関について

A 村 長

村としては、総務課長



金子松二郎議員

学童保育所の現況 を問う

Q 学童保育所が14年度に東小、15年度に南小に開設され、利用者に大変喜ばれているが、その利

をグループリーダーとして、総務課3名、その他各課1名の選出で合併問題対策グループを編成いたしました。

大河原小学校区 にも

用状況について伺いたい。また、大河原小学校区の希望はあるのか、あるとすれば、早期開設の予定はあるのか。

A 村 長

学童保育所の利用状況は5月末日の状況で昭和東が通年12人、一時13人、昭和南が通年10人、一時5人で、昭和東の3月末の利用状況（通年10人、一時6人）から見ると、一時利用者が増加している。又、大河原小学校区は現在、土曜日のみ1人の利用状況であり、今後の動向を調査して検討していきたい。

国有林野の払い下 げについて

Q 利根沼田森林管理署



高橋幸一郎議員

昭和村社会福祉協 議会の今後の運営 のあり方を問う

A 村 長

所有の「糸井字赤城原」の国有林「旧リゾート予定地」「苗畑」10万531㎡を現在利用農家が借り受けて賃貸耕作をしているが経営規模拡大また、安定のためにも買い受け申請をしてほしい。

村でも、優良農地でもあり、規模拡大を目指して近隣市町村への出耕作も多く行われていることから、土地価等もふまえて機会がある毎に森林管理署にお願いし、検討いただいているところです。

地域ニーズの把握と人材発掘を

Q 社協が主体性を持ち、行政がサポートし、より効率的に且つ効果的に、また、自主・独立的

な発想を持った柔軟な組織運営がなされる事が大事な事だと考えるが。

A 村 長

村と社会福祉協議会ではその組織された個々の目的に添って住民福祉事業の役割を分担し、住民サービスを提供していると考えています。また、行政のサポートが必要な部分は協同し、今まで以上に効果的且つ、主体的な運営と社協独自の事業展開が図られることを期待しています。

Q ボランティアコーディネーターの設置と、管理者に専門的知識を有する人事が施され、村民に

対し、より安心・安全で安定した社会福祉事業の展開が不可欠と思われるが。

A 村 長

村内におけるボランティア団体の状況等を社協とともに調査、検討を進

め、現状の昭和村における設置の動向等を検討していきたいと考えています。また、社協の職員体制についても、今までの運営状況等を十分に協議し、よりよい協議会の体制と体質が確立できるように検討していきたいと考えています。

Q 温泉センターの運営

について、入館者の減少、収支状況を含めた今後の対策を問う。

A 村 長

周辺温泉センターのオープンにより、ポイントカードや夜間割引等を実施していますが、入館者は平成12年度を境に減少しており、その運営方針方向性を検討しなければならぬ時期にもきていると考えています。そして、平成14年度の収支4千192万7千円の収入に対し、福祉センターの支出は4千691万2千円となり、498万5千

円の村からの負担があり、独自採算が出来ない状況にあり、今後この負担の増加も考えられる状況下にあります。そこで、今後は入館時間の制限、食事の提供、団体



林 幸司議員

電力ダウンを想定した危機管理対策、対応を問う

Q 6月末から8月に

かけて原子力発電のストッブに伴う電力不足により、停電が予想されるが。

A 村 長

長時間の停電により緊急の災害時及び農集排施設への対応、飲料水の提供、住民課の窓口業務及び税務課の一部証明書等の発行が不能になり、村民の

客の誘致と利用スペース等、村内の利用する方々の負担とサービス低下につながるような対策を検討しなければならぬと考えています。

村としても節電節エネ対策を

皆様に迷惑をかける心配があります。長時間の停電については、事前に電力会社へ情報提供をお願いし、各課の中で十分な検討を指示しています。

中国人研修生等のSARS対策は

Q 国内での発症が心配

されているが、本村としての対策・対応は。

A 村 長

4月3日に行われた歓

迎式典終了直後に外務省の報道によりSARS（重症急性呼吸器症候群）の情報があり、村では即、その日の夕方受け入れ農家をはじめとする協議会役員、団長等により、研修生の健康状態について最善の注意を払い潜伏期間が十日前後を過ぎても誰一人発熱もなく現在に至ります。今後感染拡大阻止に向けて国や県の情報をリアルタイムで広報やオフトークで村民に伝えたいと考えています。

保育園や小中学校の全面禁煙化について

Q たばこ消費削減に向けて村立の保育園・小学校・中学校の全面禁煙化を求めます。

A 村 長

村では健康増進法に先立ち、昨年8月より役場事務室を禁煙とし、今年

度はスモーカーライザー（呼気中の一酸化炭素濃度測定器）を購入し、現在各地区を巡回し、たばこの有害性を示し、禁煙教育を行っています。受動喫煙防止対策として、保育園においても教育的観点から全面禁煙としています。

A 教育 長

学校管理は、学校長に直接管理を任せているので各学校の様子を聞いたところ、教職員68人中、喫煙者が9名いますが分煙化の徹底を図り、他の職員や児童生徒に煙の届かない特定の場所です。しか喫煙していないとのことです。



市町村合併問題

対策特別委員会から

▽5月22日

利根沼田任意合併協議会
会で8月、町づくりビジョンの作成、9月、法定協議会設立予定の中で、5月22日、合併することの意思を問う住民投票条例について、提案され協議しました。

合併に関するアンケート調査の最終報告、村独自のシミュレーションの作成、再度の地区説明会等を行うなど村と議会と村民が一体となった方向性が望ましいとの見地から、住民投票については選択肢の一つとして検討することとなりました。

農業集落排水事業

対策特別委員会から

▽6月6日

赤城高原地区戸別浄化槽設置について、現在までに(株)ヤマト社の製品(1社のみ)が106基設置されていますが、戸別浄化槽推進協議会においてFRP(強化プラスチック製)製品の業者

をもう一社加えてほしいとの要望があり、今後、予定される約400基については、メーカー等検討し1社を採用し、二者択一できるようになりよりよい方向で進めて行けるように協議されました。

全員協議会から

農業委員との懇談会

▽4月30日

吉野議長、澤浦副議長から、任意合併協議会での協議内容や、合併についての説明がされ、農業委員の立場においての合併に対する率直な意見交換がなされました。

残してくれた大切な昭和村の農地を守っていききたいなど貴重な意見が出されました。

消防団再編の報告会

▽6月12日

消防団再編の審議委員は現在13名、村長、議員、消防団関係、区長さんで構成されています。

小野総務委員長から、消防団の再編についての報告があり、団員の確保、また火災の初期消火等、村外勤務の団員が多いことから、現在10分団あるのを、今後地域全体のバランスのとれた組み合わせをして編成をとる報告がありました。



▲第5分団へ納車

＝ 特別委員会 の う ご き

村有財産の視察

▽4月19日



▲根利川頭首工

- ・昭和の森ゴルフ場
- ・平成16年県植樹祭
予定地「桜地区」
- ・芝生広場予定地
- 「総合運動公園内」
- ・一般廃棄物処理場
- ・鹿避けネット
- 「上中野地区」
- ・東部浄水場
- ・昭和南地区処理施設
(農集排)
- ・岩本駅前駐車場
- ・旧給食センター
- 等の施設を巡視し、今
後の建設、維持管理、活
用などについての話し合
いを行いました。

その他の うごき



▲長者久保橋工事現場

- 村有財産の視察を議員
全員で担当課長関係者立
ち合いの元で行いました。
- ・赤城西麓土地改良事業
- 「根利川頭首工」利根村
- ・利根調整地
- ・望郷ライン
- 「長者久保橋」
- ・千客万来トイレ
- ・昭和の森山荘

第57回群馬県植樹祭

に参加

▽5月31日

小さな芽 木から林へ
森になれ



▲昭和村「さくら」榛東村「すぎ」の苗木交換

榛東村で行われた群馬
県植樹祭に議員全員で参
加し、おりからの台風の
接近に伴う豪雨の中、と
もに参加した緑の少年団
の本村小学生が次期開催
地の代表として苗木の交

換を行いました。
来年度平成16年は本村
が主会場になり植樹祭が
行われる予定です。参加
しておおいに参考にな
りました。

利根村議会と

町村合併意見交換会

▽6月13日

2月に利根村にて意見
交換会が行われたところ
ですが、2回目として昭
和村を会場として「昭和
の森山荘」で開催しまし

た。お互いに合併アンケ
ート結果による住民の意
向等交えながら、前回か
ら一歩踏み込んだ話し合
いとなりました。

村外公共施設等を視察

▽6月20日

村外の村に係わ
る公共施設等の視
察をしました。利
根沼田広域消防本
部、沼田市外三箇
村清掃施設組合工
場・衛生センター、
また利根東部一般
廃棄物最終処分場
(利根村)、新治村特別養
護老人ホーム「西嶺の
郷」、また本村で処理を
委託している廃ポリマル
チの焼却を行っている沼



▲(有)金谷商事の処理施設

田市の(有)金谷商事の
処理施設など、議員全員、
村長、担当職員で視察研
修を行い、今後の問題点
を協議しました。

町村合併と

芝生広場視察

5月15日、16日と2日間にわたって平成17年3月1日までの合併を決定した千葉県勝浦市周辺1市5町の夷隅郡市合併協議会、同時に本村が計画している芝生公園建設に向けて山武町のさんぶの森公園の芝生広場等の視察研修を行いました。



▲さんぶの森公園内のふれあいセンター（多目的ホール）



▲さんぶの森公園ローラーすべり台

さんぶの森公園は8つのエリアで構成されており、その一つとして「ふれあい広場（芝生の大広場）」があります。芝生に関する問題点、遊具の種類、予算や維持管理、活用法等細かく説明を受け、意義ある研修となりました。



▲さんぶの森公園ふれあい広場

1市5町の紹介（市・町章）

（夷隅郡市合併協議会）

勝浦市	大多喜町	夷隅町	御宿町	大原町	岬町
					
人口 23,198人	人口 11,908人	人口 8,039人	人口 8,280人	人口 20,941人	人口 15,216人
漁港で観光地である勝浦市を表象したもので「カツ」を図案化し、伸展上昇と円満協力を簡潔に印象づけて市章化したものです。	5か町村の和（輪）が大きな広がりを持ち五足の星が大きな輝きになると言う願いをこめた表現がされています。	太陽と人の和を表現する大きな円の中にもうひとつの円と三角形で人の形をあらわしています。深緑色は町の木「黒松」の緑を意味し、夷隅町の「い」の乗車モニター図案化したものです。	町名の頭文字「オン」を図案化したもので、合併した3町村が丸く和合し、未来に向かって大きく発展することを表しています。	大原の「大」と黒潮踊る海原と町の和を図案化したもので「大」の字先は四方に発展する「力」を意味し躍進大原を簡潔に印象づけて町章化したものです。	三条の円周線が、ミサキ町の頭文字「ミ」を表わし、外わくの太線は緑の大地を、内わくの二条は打ち寄せる海の波動を、中央上部の円は、旭日昇天の逞ましさを形造り、町勢の限りなき隆盛を展望したものです。
昭和32年制定	昭和33年制定	昭和48年制定	昭和40年制定	昭和48年制定	昭和56年制定

人口合計 87,582人

※人口はH14.4.1現在の住民基本台帳人口

夷隅郡市合併協議会設置の経緯と今後の課題

経 緯

平成14年3月12日	第1回夷隅郡市合併問題協議会開催
4月末～5月中旬	住民説明会実施
6月10日	千葉県より「合併重点支援地域」に指定
8月12日	将来構想（案）策定に係る住民意識調査実施 （1市5町 8,000人対象）
9月5日	第3回協議会、住民発議に伴う今後の予定を協議
10月22日	夷隅町、大原町、岬町、の臨時議会において法定協議会設置 議案可決。
10月28日	大多喜町、臨時議会において法定協議会設置議案可決。 御宿町では同案が否決される。
11月5日	勝浦市、臨時議会において法定協議会設置議案可決。
12月15日	御宿町で同一請求に基づく合併協議会設置についての住民投 票が実施され、開票結果は「賛成過半数」となる。
12月16日	1市5町で「夷隅郡市合併協議会設置に関する協議書」への 調印を行う
平成15年1月15日	第1回夷隅郡市合併協議会開催 （その後、毎月1度法定協議会を実施）

今後の課題

- ・ 漁業、農業が主の人口約86,000人の日頃密接な交流のある地域で常に同じテーブルで協議する必要がある。
- ・ 財政状況が厳しい中で合併の効果（機能集約・地方分権の組織）をいかに出せるか。
- ・ 庁舎位置等の基本4項目が意見が一番割れるため、利害と方向性を統一する。
- ・ コンサルタントとの打ち合わせ等を密にして住民にわかりやすいビジョンをつくる。
- ・ 電算システム構築には最低1年半は時間を要するので事前に担当者レベルでの綿密な打ち合わせが必要。



▲夷隅郡市合併協議会

南房州、里見八犬伝の伝説の地、八人の犬士が力を合わせ、南房をまとめた様に
今、夷隅6市町の犬士が新しい時代の枠組み作りに立ち上がった。
関東の北端利根の郡こおりでも共通の志を持ちてたちあがる犬士いでや！
それとも、昭和単村で輝き続けるか！



みなさんからの請願・陳情



自 平成14年11月8日 至 平成15年5月27日

受理 番号	受 理 年月日	件 名	陳情者の 住所・氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会	審議結果
4	H14.11.8	国民本位の「税制改革」で景気回復を求める請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 ほか1名	林 幸司	総 務	趣旨採択
7	H14.11.8	利根沼田広域圏市町村合併に関する請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎	林 幸司	総 務	継 続
8	H14.11.8	介護保険制度の充実を求める請願	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 ほか1名	林 幸司	民 文	趣旨採択
9	H14.11.8	アメリカのイラク攻撃計画の中止を求めるとともに有事法制関連法案に反対する陳情書	利根沼田大運動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 ほか1名	林 幸司	総 務	審議未了
14	H14.11.21	国民本位の公共事業の推進と県内の国土交通省出先機関の執行体制等の拡充を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合 関東地方本部群馬県協議会 議長 渡辺 万善男		総 務	趣旨採択
19	H14.12.19	金子容子さんの早期救出を求める陳情	加古川市議会 議員 大矢 卓志		総 務	趣旨採択
23	H15. 2.17	健康保険本人3割負担凍結を求める意見書提出についての陳情書	群馬県社会保険推進協議会 会長 野上 恭道		民 文	審議未了
24	H15. 2.20	昭和村小口資金融資にかかわる保証人要件の緩和についての請願書	昭和村商工会 会長 石井 敬治	治田 貞賢 高橋幸一郎	産 建	採 択
26	H15. 2.20	教育基本法「全面見直し」に反対し、学校と教育に教育基本法を生かすことを求める陳情	群馬県高等学校教職員組合 執行委員長 鍋木 澄雄		民 文	不 採 択
27	H15. 2.20	「高校教育行政改革方針」を中止し、県民論議にしたがった「高校教育改革」を求める陳情	群馬県高等学校教職員組合 執行委員長 鍋木 澄雄		民 文	不 採 択
28	H15. 2.20	「教育基本法見直し改悪」反対・「高校教育改革基本方針」の中止を求める陳情	群馬県高等学校教職員組合 執行委員長 鍋木 澄雄		民 文	不 採 択
30	H15. 2.25	米英案によるイラク攻撃容認決議の撤回と平和解決の努力を求める意見書採択を求める請願	憲法改悪阻止群馬県各会連 絡会議 代表委員 吉村駿一ほか	林 幸司	総 務	審議未了
31	H15. 3.31	政府に「平和の意見書」の提出を求める陳情書	ネットワーク「地球村」たかさき 代表 染谷 正憲		総 務	審議未了
32	H15. 5.13	村道臼久保5線道路改良工事のお願いについて	常木区長 澤 田 保	金子松二郎	産 建	採 択
33	H15. 5.14	有事法制に関する要請書	自由法曹団群馬支部 樋口法律事務所		総 務	審議未了
34	H15. 5.14	特別養護老人ホーム建設に関する陳情書	医療法人社団 輝城会 理事長 西松 輝高		民 文	採 択
35	H15. 5.14	子育て保育園々舎の拡張的建て替え費用並びに付属構築物器具等の全面的改修費用の全面的支援（補助）要望書	社会福祉法人子育て会 理事長 中村 一雄 ほか7名		民 文	継 続
36	H15. 5.21	一般公開の条例制定について	昭和村大字糸井 角田 茂	小野 一男	総 務	継 続
37	H15. 5.22	村道関屋3号線拡幅工事のお願いについて	森下下宿区長 柳沢 正顕	関上 正雄 竹之内 章	産 建	採 択
38	H15. 5.26	貝野瀬地区内のふれあい広場に防火水槽の整備等を求める陳情書	貝野瀬区代表区長 室田 衆策 ほか5名	横坂 幸也 林 幸司	総 務	採 択
39	H15. 5.26	貝野瀬地区内の望郷ライン沿いに公衆トイレの整備を求める陳情書	貝野瀬区代表区長 室田 衆策 ほか5名	治田 貞賢 横坂 幸也 林 幸司	総 務	採 択
40	H15. 5.26	貝野瀬地区内の村道「掘ノ内宮原線（武尊神社付近）」等の拡幅改良整備を求める陳情書	貝野瀬区代表区長 室田 衆策 ほか3名	横坂 幸也 林 幸司	産 建	採 択
41	H15. 5.26	貝野瀬地区内の村道「新井替戸下野々井線」舗装改良整備を求める陳情書	貝野瀬区代表区長 室田 衆策 ほか4名	横坂 幸也 林 幸司	産 建	採 択
42	H15. 5.26	旧学校給食センター有効利用の一環として地域が利用できるコミュニティ施設設置の要望についてお願い	糸井財産区長 竹吉 順一 ほか10名	小野 一男 石井 清司 金子松二郎 高橋幸一郎	民 文	趣旨採択
43	H15. 5.27	村道中野3号線の道路舗装及び排水対策の整備を求める陳情書	中野上区長 吉澤 信男 中野下区長 片柳 実	治田 貞賢	産 建	採 択
44	H15. 5.27	県営倉洲ダムおよび増田川ダムの建設計画の抜本的見直しを求める意見書採択に関する請願	前橋市駒形町951-56滝沢 俊治 ほか1名	林 幸司	産 建	継 続



昭和村第一期議員
堤 基さん
(入原下 75歳)

新村昭和村誕生の思いで

光陰矢の如しと申しま
す、昭和村が誕生して今
年は45年目となりまし
た。当時31歳であった私
も今76歳と成りました。
今また広域合併の問題



昭和村第三期議員
綿 貫 民 男さん
(森下中 74歳)

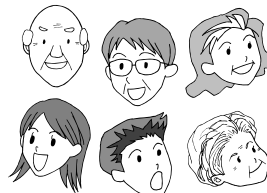
寸 談

合併により昭和村が生
まれて45年僅か50年足ら
ずで又合併騒ぎと云う事
は時代の流れと云う無責
任な評言でいゝのか、先
の見へなかつた、時の行
政責任的な機関の過ちだ
つたのか、当時の一生懸
命が無駄なのか、何時と
も片付ける事の出来ない

村の一部であつた生越地
区を吸収合併して現在の
昭和村と成りました。以
来昭和村村民憲章のもと
に村民一致協力して村作
りに努力をして現在の立
派な昭和村と成つたと思
います。今また合併と言
う問題が出て来るとは思
いませんでした。世の中
はどんどん進歩し変化し
て参ります将来のことは
全くわかりませんが合併

しなければ村がやつて行
けないと言ふことになれ
ば仕方のないことだと思
います。村民が皆幸福に
生活出来ますよう十分に
研究して、村民に理解し
てもらえるよう、役目に
当たる人達は大変だと思
いますがどうかどうか一
層の努力をお願い申し上
げます。

おきたい・知りたい みんなの声



の範囲が拡大されている
事も事実です。規模の大
きい程生活環境・生産基
盤・生活文化や習慣等の
内身の相違の検討も課題
となりましよう。合併に
よつて伝統文化(祭)等
の影が薄くなつた等もよ
く耳にします。兎に角外
輪が目につき易く議論も
されがちですが、そつし

た中であつて仕様に当た
られては皆様には財政
問題も決して見逃しては
ならない基本的問題で
す。或いは農協の合併も
経験済みです。合併前と
後の現状を正直に把握す
る事も重要です。どうか
悔いのない方向付けを祈
念致します。



元昭和村職員
倉 澤 高 雄さん
(森下下 71歳)

昭和村誕生までの思いで

昭和33年11月1日は、
久呂保村と糸之瀬村の合
併により昭和村が誕生し
た当時の事務の流れを振
り返りたいと思います。
町村合併の県試案が示
され対象は久呂保村と糸
之瀬村であつた。

両村とも県試案に納得
せず各村の常任委員会
で独自の合併試案を作り研
究討議が重ねられてきた
が県側とうまく行かず良
い結論が出ないまま時
が過ぎました。

その後両村とも合併事
務が進まず県側の仲介調
整により両村委員の諒解
が得られ合併の基本とな
る合併促進協議会が結成
され合併促進に関する基
本的条項等が協議決定さ
れた、委員は両村長、助
役、両村議会議員全員、
書記両村から二名が選出
された。昭和33年7月4
日正式な役員構成が出来
た。

その後協議会書記とし

て糸之瀬側宮川喜一さん
久呂保側倉澤高雄の二名
が合併基本協定関係や事
務の進め方、村民に対す
る協力体制につとめてき
ました。
併し合併事務は簡単で
はなく時間がかかり合併
基本協定が出来上がった
のは昭和33年9月13日
でした。
それから村の命名と旧
村から新村への事務引継
ぎ等あわただしい毎日が
続き、ある時は夜食を自
分達で作る食べながら仕
事をしたこともありまし
た。
併し合併事務とは言へ
家庭のことも忘れ事務に
専念する宮川喜一さんの
姿は同じ事務をしていた
私にとって強い励みとな
り無事合併事務が終了出
来ました。当時私は27歳
でした。
先輩皆様のご指導、仲
間の皆様のご協力に対し
深く感謝申し上げます。

議会に臨む

合併に思う



元久呂保農協参事
高橋 富三さん
(入原上 77歳)

社会の動向があらゆる面で見極めにくい今日、昭和村の進むべきあり方について日夜ご努力されている村当局者、「議員」役職の皆さんに心より敬意と感謝を申し上げます。

ここ長い間経済の低迷を背景に不安要素の一層ましつづける事は誠に憂うところであり、まして現在国際的にも国内にあっても改革の名のもとに企業統合、行政合併等が進められ既に行動に移されその結果はそれぞれの評価が論議されているところでもあります。合併という大きな変革をもたらす歴史的なできごとでありますから其の意味は重要なものであります。情報が様々の形で目で見、耳で聞くことが多い訳ですが何か具体的なところに欠けている事は否定できないのではない

か。

昭和村においても合併説明会「アンケート」調査実施等いろいろとされているところですが具体的にには未だ説明にも、ものたりなさを感じているのではない。

現在村の現況はどうなっているのか、「平成15年度一般会計当初予算四十一億円」の内訳を見ても外部からの収入見込みの比率構成、支出予算組、資産、負債、社会資本状況等計数的な面からも「バランスシート」の再確認による現状説明それに最も重要な今後のあるべく村の経済活動をふまえる生活基盤の確保、それによる大きな行政課題である教育、福祉、医療、そして村の生活環境の整備と位置づけ、行政サービスのより良い方向性等を示す必要があるのではない。

村長さんはじめ「議員」当局の長い間培われた行政経験をもえた知識と高度な判断力とそれにより強い信念と行動によって現状確認し中、長期に視点を向けて村民の期待にそつ方向を望むものであります。

議会のうごき

4 月

- 18日 議会だより編集委員会
- 24日 村民ゴルフ大会
- 30日 農業委員と合併について意見交換会



5 月

- 9日 春の道路愛護巡視
- 12日 議会全員協議会
(花一杯運動について)
- 14日 昭和村子ども会育成会連合会役員総会
- 15日 合併問題対策特別委員会視察研修
千葉県勝浦市(夷隅郡市合併協議会) 山武町さんぶの森公園
- 22日 中学生海外派遣推進委員会
- 25日 県民スポーツ祭オープニング大会
- 26日 第30回昭和村敬老会
- 28日 議会運営委員会
- 31日 第57回群馬県植樹祭(榛東村)

6 月

- 1日 利根沼田消防ポンプ操法競技会
- 6日 6月定例議会
- 12日
- 13日 昭和村議会・利根村議会合併対策研究会
- 17日 昭和村老人クラブ連合会スポーツ大会
- 18日 アメリカ・イーグルポイント交流事業歓迎会
- 18日 昭和村立第1保育園起工式
- 20日 村外公共施設視察研修
- 23日 議会だより編集委員会
- 24日 議会だより編集委員会視察研修新潟県聖籠町議会
- 25日
- 27日 廃棄物減量等推進審議会・民生文教委員会合同視察研修
- 30日 町村議会議員研修会

編集室から

IT(情報技術)革命と言われる現代社会、パソコン、携帯電話の普及で仕事のスピードは上がり、生活環境は便利になったよう感じさせられる昨今、ともすると物作りを忘れさせられる世の中のようなが、本来、道具は人が活用して物を作り出す道具であるはず。

国は今、市町村合併、三位一体の改革「交付税の見直し・補助金の削減・税源移譲」と、地方分権を進め、自治体が自主的な財政運営をできることを目指しています。

村づくりのため、多くの人々が、これまで繰り返ししてきた英知と努力は必ずや次の世代へと引き継がなければなりません。物事の是非は、好きか嫌いかだけにとらわれず、何が正しいかを見極め、決める大切さを思います。

盛吉記

とじておくと便利です